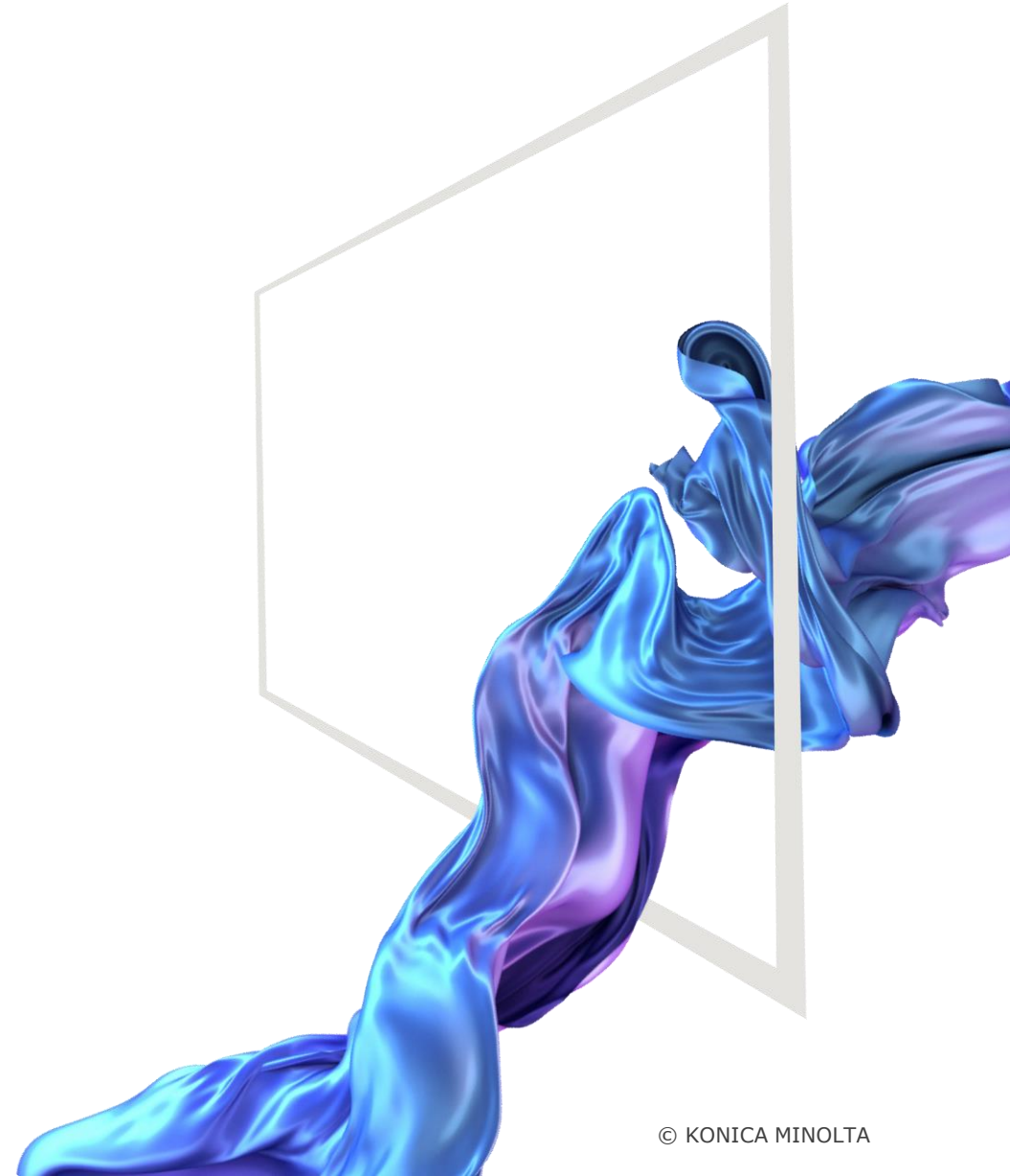


# コニカミノルタ株式会社 2025年3月期（2024年度） 第2四半期決算説明会

代表執行役社長 兼 CEO 大幸 利充

2024年11月5日



# 本日のポイント

## FY24 上期実績と通期見通し

- 上期：事業貢献利益\*は大幅増益  
フリー・キャッシュ・フローの改善
- 通期：事業の選択と集中の施策と減損リスク等を織り込み、営業利益を下方修正  
Ambry Genetics社の全株式譲渡益を見込み、当期利益を据え置き

## 中期経営計画 進捗

- **事業収益力の強化**：  
オフィスの収益力安定化、プロフェッショナルプリントの収益拡大  
中国無錫工場の生産終了決定
- **事業の選択と集中**：  
プレジジョンメディシンのAmbry社の全株式譲渡契約締結
- **グローバル構造改革**：計画より前倒しで進捗

## 中期経営計画 課題

- **事業収益力の強化**：センシング、機能材料、ヘルスケアで収益悪化
- **財務基盤の強化**：金融収支（為替差損）の悪化、税金費用の高止まり

## FY24上期実績

事業貢献利益	FCF
<b>178</b> 億円 (対前年 +155億円)	<b>167</b> 億円 (対前年 +73億円)

## 事業貢献利益率

全社 <b>3.1</b> % (対前年 +2.6pt)	
オフィス <b>7.9</b> % (対前年 +2.4pt)	プロフェッショナルプリント <b>4.6</b> % (対前年 +1.7pt)

売上高	当期利益
インダストリー <b>604</b> 億円 (対前年 △13億円)	全社 <b>△107</b> 億円 (対前年 △62億円)

\* 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

# 2024年度 上期業績



KONICA MINOLTA

# 2024年度 上期業績 | 全社サマリー

- 売上高 : 増収
- 売上総利益 : 利益率の改善
- 事業貢献利益\* : オフィス、プロダクションプリントの増益が寄与、非重点・方向転換事業の損失縮小
- 営業利益 : 事業構造改善費用164億円の計上  
(うちグローバル構造改革約120億円、無錫工場の生産終了やDW-DXの選択と集中等)
- 当期利益 : 金融収支(うち為替差損46億円)の悪化、税金費用の高止まりにより損失

【億円】

	FY23 上期	FY24 上期	前期比	為替影響を除く 前期比	FY23 2Q	FY24 2Q	前期比	為替影響を除く 前期比
売上高	5,528	5,837	+6%	△ 1%	2,864	2,975	+4%	+0%
売上総利益	2,372	2,607	+10%	+2%	1,253	1,343	+7%	+2%
(売上総利益率)	42.9%	44.7%	+1.7pt		43.8%	45.1%	+1.4pt	
販売管理費	2,350	2,429	+3%	△ 2%	1,190	1,180	△ 1%	△ 3%
事業貢献利益	23	178	+679%	+364%	64	162	+154%	+107%
営業利益	8	△ 7	-	-	52	△ 3	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 45	△ 107	-		11	△ 73	-	
FCF	94	167	+78%		202	250	+23%	
為替レート (円)								
USドル	141.00	152.63	+11.63		144.62	149.38	+4.76	
ユーロ	153.39	165.95	+12.56		157.30	164.01	+6.71	
人民元	19.75	21.15	+1.40		19.94	20.82	+0.88	

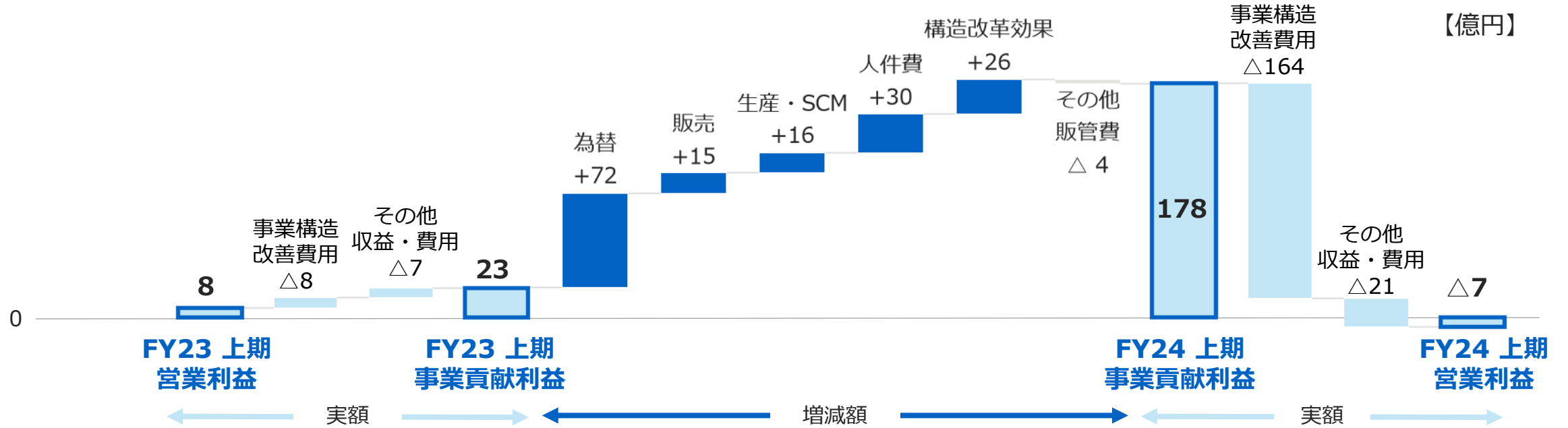
\* 事業貢献利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出した利益指標

# 2024年度 上期業績 | 営業利益/事業貢献利益の増減要因



KONICA MINOLTA

【億円】



	FY23 上期 営業利益	事業構造 改善費用	その他 収益・費用	FY23 上期 事業貢献利益	為替	販売	生産・SCM	人件費	構造改革効果	その他 販売管理費	FY24 上期 事業貢献利益	事業構造 改善費用	その他 収益・費用	FY24 上期 営業利益
デジタルワーク プレイス事業	100	△5	△2	107	+35	△0	+15	△3	+17	+20	191	△129	4	66
プロフェッショナル プリント事業	37	-	0	36	+28	+22	△2	△8	+4	△15	65	△17	1	49
インダストリー事業	76	-	△5	81	+7	△24	+2	+0	+2	+6	75	△5	2	72
画像 ソリューション事業	△35	-	△0	△35	+0	△14	-	+0	+3	△4	△50	△5	△4	△59
プレジジョン メディシン事業	△52	△1	△0	△50	+1	+29	-	+39*	-	△5	14	△0	△12	2
コーポレート他	△118	△2	1	△117	+0	+2	-	+2	-	△5	△118	△7	△12	△138
合計	8	△8	△7	23	+72	+15	+16	+30	+26	△4	178	△164	△21	△7

\* Invicro社譲渡に伴う人件費減少を含む

# 2024年度 上期業績 | 事業セグメント別売上高、事業貢献利益、営業利益

【億円】

売上高	FY23 上期	FY24 上期	前期比	前期比 (為替影響除く)	FY23 2Q	FY24 2Q	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	2,945	3,076	+ 4%	△ 2%	1,512	1,556	+ 3%	△ 1%
プロフェッショナルプリント事業	1,240	1,391	+ 12%	+ 5%	638	714	+ 12%	+ 8%
インダストリー事業	617	604	△ 2%	△ 7%	320	295	△ 8%	△ 11%
画像ソリューション事業	485	504	+ 4%	+ 0%	267	276	+ 3%	+ 2%
プレジジョンメディシン事業	238	258	+ 9%	+ 1%	124	133	+ 7%	+ 4%
コーポレート他	3	3	+ 8%	+ 8%	2	1	△ 2%	△ 2%
全社合計	5,528	5,837	+ 6%	△ 1%	2,864	2,975	+ 4%	+ 0%

事業貢献利益	FY23 上期	率	FY24 上期	率	前期比	前期比 (為替影響除く)	FY23 2Q	率	FY24 2Q	率	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	107	4%	191	6%	+ 78%	+ 45%	84	6%	123	8%	+ 47%	+ 32%
プロフェッショナルプリント事業	36	1%	65	5%	+ 80%	+ 2%	28	2%	48	7%	+ 68%	+ 26%
インダストリー事業	81	3%	75	12%	△ 7%	△ 19%	43	3%	38	13%	△ 12%	△ 23%
画像ソリューション事業	△ 35	-	△ 50	-	-	-	△ 8	-	△ 9	-	-	-
プレジジョンメディシン事業	△ 50	-	14	5%	-	-	△ 21	-	16	12%	-	-
コーポレート他	△ 117	-	△ 118	-	-	-	△ 63	-	△ 53	-	-	-
全社合計	23	1%	178	3%	+ 679%	+ 364%	64	4%	162	5%	+ 154%	+ 107%

営業利益	FY23 上期	率	FY24 上期	率	前期比	前期比 (為替影響除く)	FY23 2Q	率	FY24 2Q	率	前期比	前期比 (為替影響除く)
デジタルワークプレイス事業	100	3%	66	2%	△ 34%	△ 64%	80	5%	21	1%	△ 74%	△ 85%
プロフェッショナルプリント事業	37	1%	49	4%	+ 34%	△ 40%	27	2%	33	5%	+ 19%	△ 22%
インダストリー事業	76	3%	72	12%	△ 5%	△ 18%	37	2%	41	14%	+ 11%	+ 0%
画像ソリューション事業	△ 35	-	△ 59	-	-	-	△ 8	-	△ 17	-	-	-
プレジジョンメディシン事業	△ 52	-	2	1%	-	-	△ 21	-	△ 12	-	-	-
コーポレート他	△ 118	-	△ 138	-	-	-	△ 64	-	△ 70	-	-	-
全社合計	8	0%	△ 7	-	-	-	52	3%	△ 3	-	-	-

# 2024年度 上期業績 | インダストリー



KONICA MINOLTA

(対前年同期)

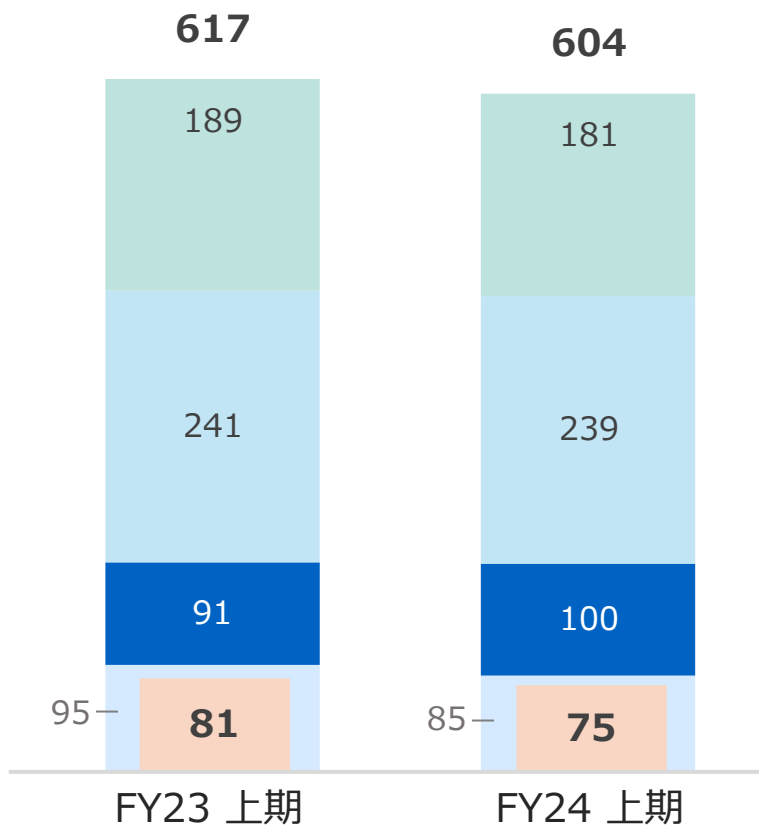
【億円】

【売上高】

## 売上高

- センシング
- 機能材料
- IJコンポーネント
- 光学コンポーネント

## 事業貢献利益



センシング △8	(-) 光源色：大手顧客の設備投資抑制の影響、一部用途の競争激化 (+) 物体色：アジア地域中心に増収 (+) HSI：リサイクル用途好調 (+) 自動車外観：欧米中心に増収
機能材料 △3	(-) IT：市場停滞により減少 (+) スマホ：市場サプライチェーンの余剰在庫調整から回復傾向 (-) TV：1Q伸長も、中小型TV向けで2Qは減少
IJ コンポーネント +8	(+) 基盤：サイングラフィックスが欧米、印、韓で堅調 (+) 成長：段ボール印字など採用が進捗
光学 コンポーネント △10	(-) 非産業：高輝度プロジェクター用レンズが市況影響で低調 (+) 産業上流：半導体製造装置向けが堅調
インダストリー事業 △6	(-) 機能材料、センシング (+) IJコンポーネント

# 2024年度 上期業績 | プロフェッショナルプリント



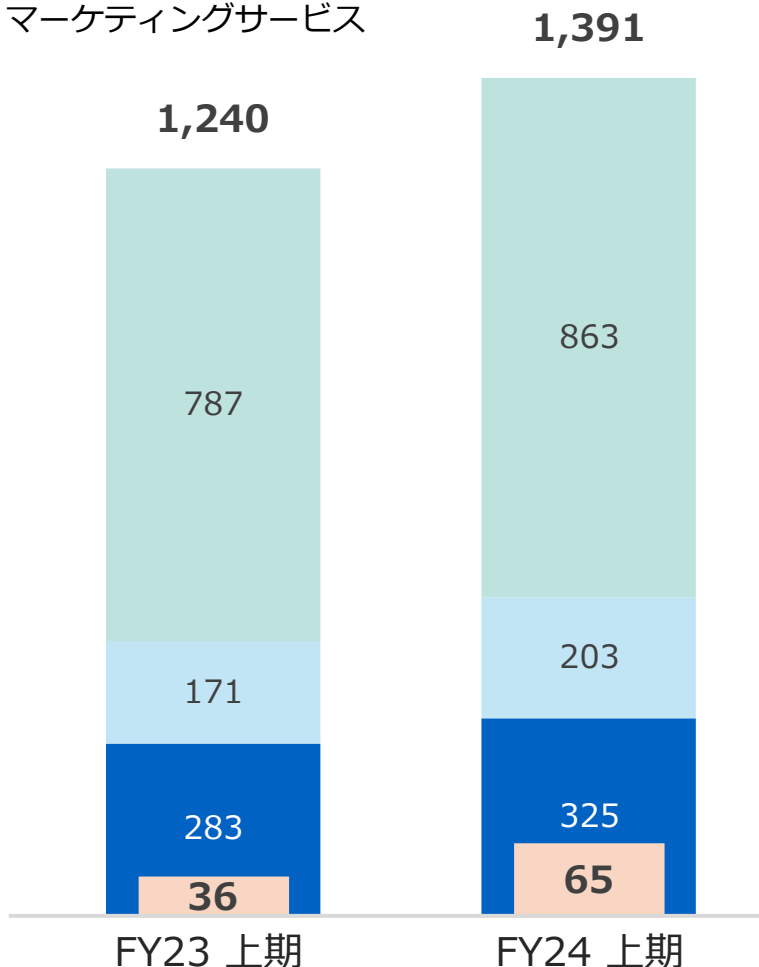
KONICA MINOLTA

【億円】

## 売上高

- プロダクションプリント
- 産業印刷
- マーケティングサービス

## 事業貢献利益



## 【売上高】

(対前年同期)

	FY24 上期	為替影響 除く	FY24 2Q	為替影響 除く
【金額】				
ハード	+9%	+2%	+7%	+4%
ノンハード	+10%	+2%	+7%	+3%
【台数】				
カラー機	△1%(HPP+37%)		+2% (HPP+28%)	
モノクロ機	△10%		△7%	

プロダクション プリント <b>+76</b>	(+) ノンハード：米国、インドで好調 (+) ハード：drupa効果、HPPの台数増
産業印刷 <b>+32</b>	(+) ノンハード：印刷機稼働台数の増加により全ての領域で売上増 (+) ハード：drupa効果、インクジェット、ラベル、加飾の台数増
プロフェッショナル プリント事業 <b>+29</b>	(+) プロダクションプリント：物量増と為替影響 (+) 産業印刷：物量増と為替影響により損失縮小



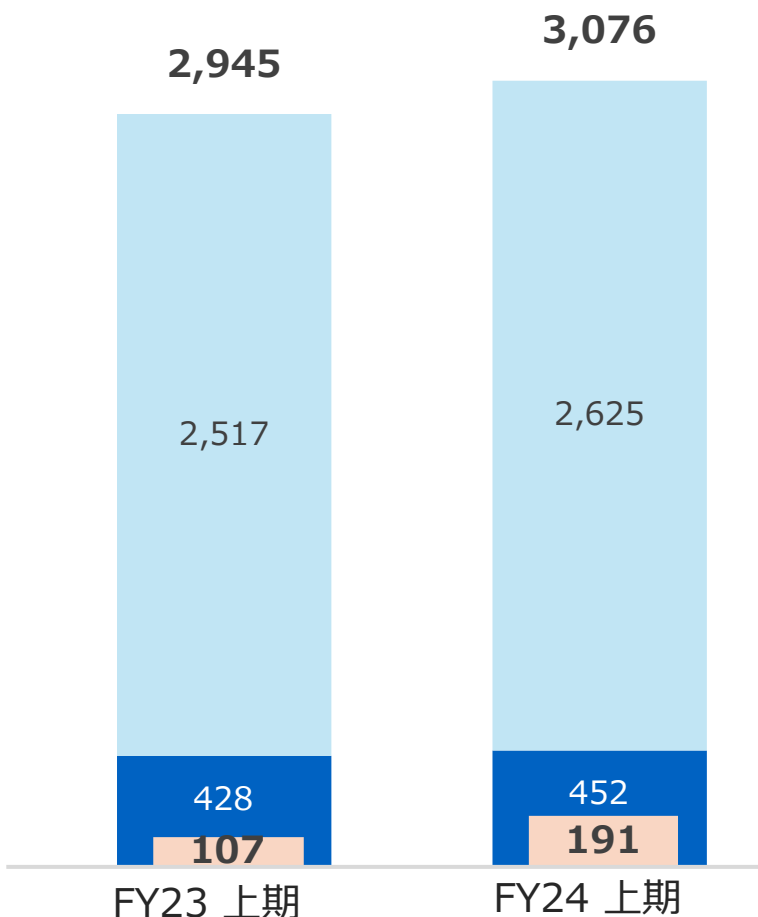
# 2024年度 上期業績 | デジタルワークプレイス

【億円】

## 売上高

- オフィス
- DW-DX

## 事業貢献利益



## 【売上高】

(対前年同期)

	【金額】	FY24 上期	為替影響 除く	FY24 2Q	為替影響 除く
オフィス +108	ハード	+2%	△4%	+6%	+2%
	ノンハード	+6%	△0%	+3%	△1%
DW-DX +24	【台数】				
	A3カラー機		△6%		△3%
	A3モノクロ機		+5%		+9%

(+) ノンハード：日米欧中で減少、印豪で増加

(+) 業務効率化サービス\*1：日米欧で好調

(+) 業種別のAI SaaSサービス\*2：日本で好調

## 【事業貢献利益】

デジタルワーク プレイス事業 +84	(+) オフィス：生産コストダウン、構造改革効果含む 販管費抑制
	(+) DW-DX：売上総利益増と販管費抑制等により 損失縮小

\*1 業務効率化サービス：ビジネスコンテンツの管理や業務プロセス管理を提供するサービス

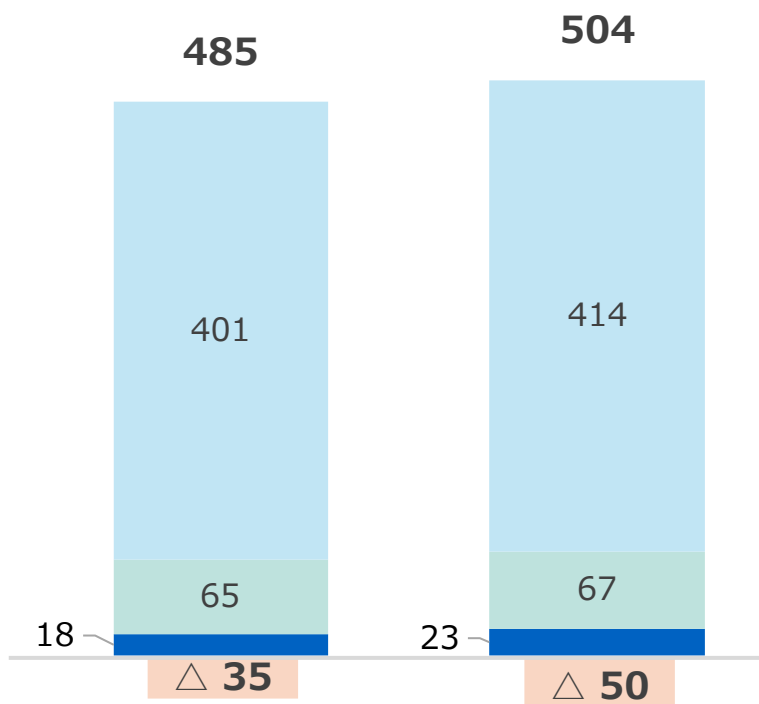
\*2 AI SaaSサービス：AIを用いた通訳、ナレッジマネジメント、学習支援などの自社開発サービス

# 2024年度 上期業績 | 画像ソリューション

【億円】

## 売上高

- ヘルスケア
- 画像IoTソリューション他\*<sup>1</sup>
- 映像ソリューション



FY23 上期

FY24 上期

## 【売上高】

(対前年同期)

ヘルスケア <b>+12</b>	(+) DR：日本減少、米国伸長、X線動態は欧・亜で伸長 (+) 医療IT：日米で好調 (-) X線フィルム：中国を中心に減少
画像IoT ソリューション <b>+2</b>	(+) 監視カメラソリューション：Mobotix減少、 欧米販社堅調 (+) Force Security社*：好調
映像 ソリューション <b>+5</b>	(+) プラネタリウム直営館：好調

\* Force Security社：2023年度に買収した米国のシステムインテグレーター

## 【事業貢献利益】

画像 ソリューション <b>△15</b>	(-) ヘルスケア：日本DRとフィルムの販売減少と、それに伴う生産効率の低下による売上総利益率の減少 (+) 映像ソリューション：黒字化 (+) 画像IoTソリューション他*：販管費圧縮
-----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

\* 前期にCO他に含まれていたFORXAIと、QOLソリューションが追加  
FORXAI: AI技術を中心とした全社共通技術基盤を展開するユニット  
QOLソリューション: 介護施設向けモニタリングソリューションを展開するユニット

# 中期経営計画の進捗



KONICA MINOLTA

- 米国の遺伝子検査企業 Ambry Genetics社の全株式をTempus AI社に譲渡する契約を締結（2024年11月5日）

Tempus AI社	所在地：米国シカゴ 設立：2015年 事業内容：データ・AI活用による精密医療テクノロジーを提供
------------	-----------------------------------------------------

- 譲渡価額および日程：

譲渡価額	600百万USドル（約840 億円）、うち現金375百万USドル、A種普通株式*225百万USドル
譲渡実行日	2024年度下期（予定）

\*A種普通株式225百万USドルのうち、125百万USドル分は登録手続きが済み次第売却可能、100百万USドル分は12か月のロックアップ期間付き

- PLへの影響：

- プレジジョンメディシン事業を非継続事業として区分。連結の売上高、事業貢献利益、営業利益から除外
- 本株式譲渡による利益410億円\*を非継続事業からの利益としてFY24下期の当期利益に計上見込み

非継続事業への分類によるFY24通期連結業績への影響

売上高	△460億円
事業貢献利益	+40億円
営業利益	+40億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	+約410億円

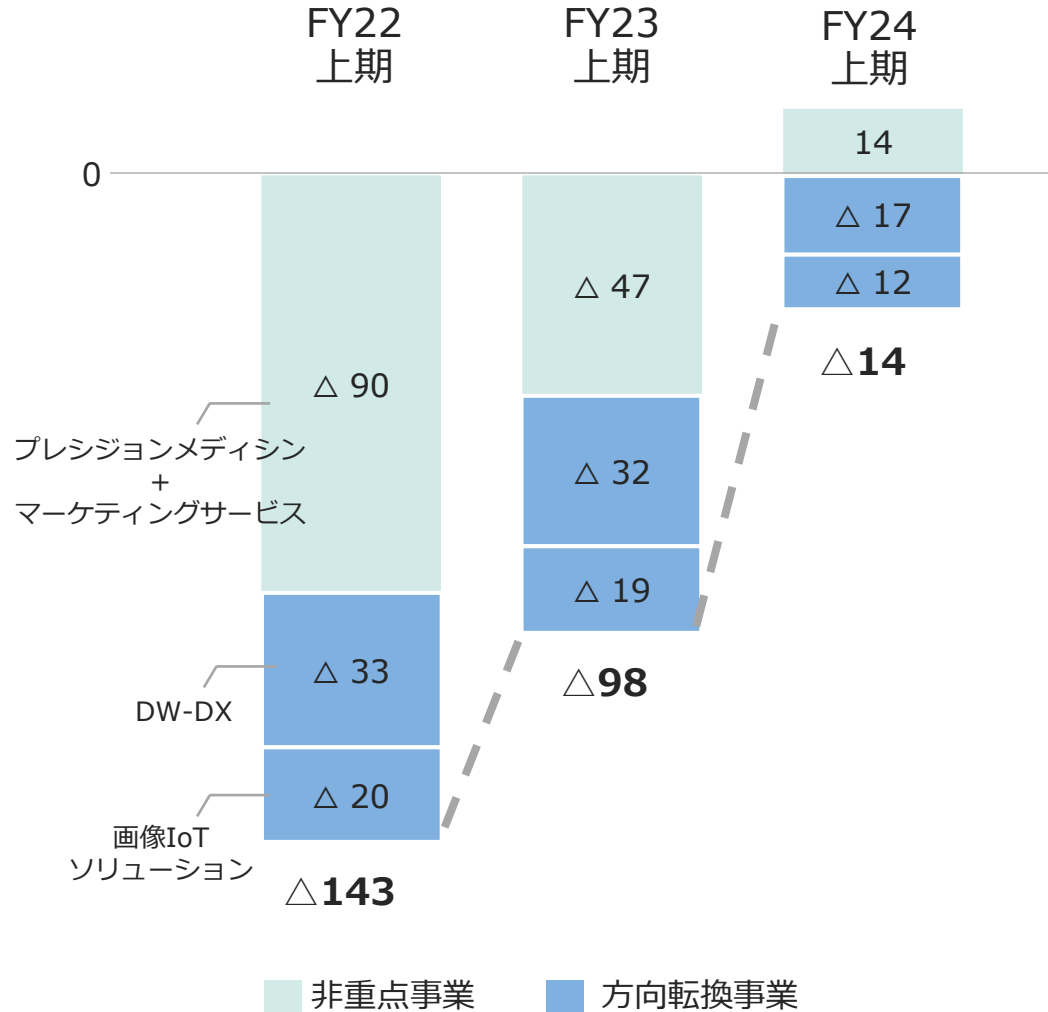
\*本株式譲渡益は、企業価値から純資産、当社グループからの借入金、および取引コスト等を控除し、在外営業活動体の換算差額の実現損益を加えて算出

\*株価や為替相場の変動等により最終的な本株式譲渡による利益は変動

# 中期経営計画の進捗 | 非重点事業・方向転換事業

## 事業貢献利益 推移

【億円】



## FY24上期の進捗

### 非重点事業 “事業の選択と集中”を加速

#### プレシジョンメディシン

- 事業貢献利益64億円改善 遺伝子検査事業の好調

### 方向転換事業 地域・展開国と事業領域を絞り込み実行を開始、計画通り進捗中

#### DW-DX

- 事業の選択と集中の実行、継続領域の利益率改善
  - 米国販売会社ERPソリューション部門 MWA Intelligenceの譲渡完了（6月）
  - ノルウェー販売会社ITインフラ構築・運用事業 HydraCloudの譲渡完了（6月）
  - 仏 ITトレーニング事業の譲渡完了（9月）

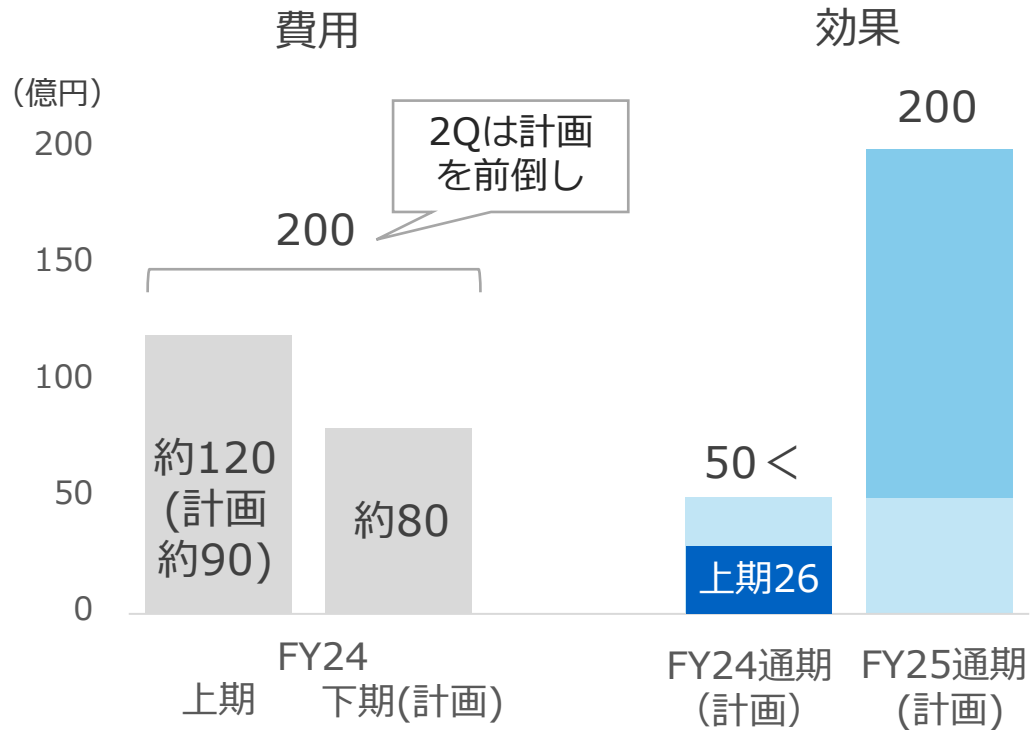
#### 画像IoTソリューション

- 販売リソースの見直しとソリューション販売の強化

# グローバル構造改革、事業の選択と集中の進捗

計画より前倒しで進捗、生産性向上に向けた取り組みは継続

## グローバル構造改革



## グループ人員数 推移・計画

	2024.3末	2024.9末	2025.3末 (計画)
<b>人員 累計減少数 (派遣・請負含む)</b>			
構造改革		1,597人	約2,400人
事業の選択と集中		511人	
<b>グループ人員数 (正規従業員)</b>	40,015人	38,516人	<37,000人

## サプライチェーンの変動を捉え、関係性強化により顧客内シェアを高め事業拡大

### 方針

（2023年度インダストリー事業説明会より）

#### 開発・生産体制強化

- ① 顧客との関係性強化
- ② 次世代技術の導入
- ③ 組織再編や人財確保による体制強化



#### 中長期の成長に向けた投資

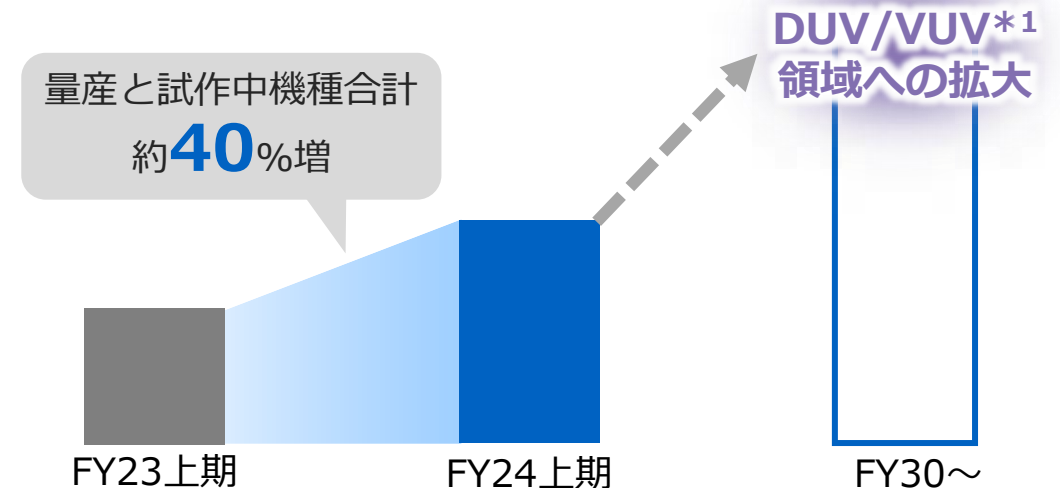
- 数十億円規模の設備投資
- 既存技術の最適化に加え、次世代技術の導入を見据えた研究開発投資

### 進捗

#### パイプライン積み上げと成長に向けた準備が進む

- ① カスタマイズ力と安定供給により、特定顧客のミドル領域（VIS/UV\*1）で受注拡大
- ② 技術の標準化と面精度向上に寄与する非接触研磨技術を導入
- ③ 生産能力増強に向け、人財投資を計画

#### 半導体製造装置用に採用された当社機種数



\*1 光源の波長帯域。VIS(可視), UV(紫外), DUV(深紫外), VUV(真空紫外)の順に波長が短くなり、より微細な半導体の回路パターンの形成・検査等に用いられる

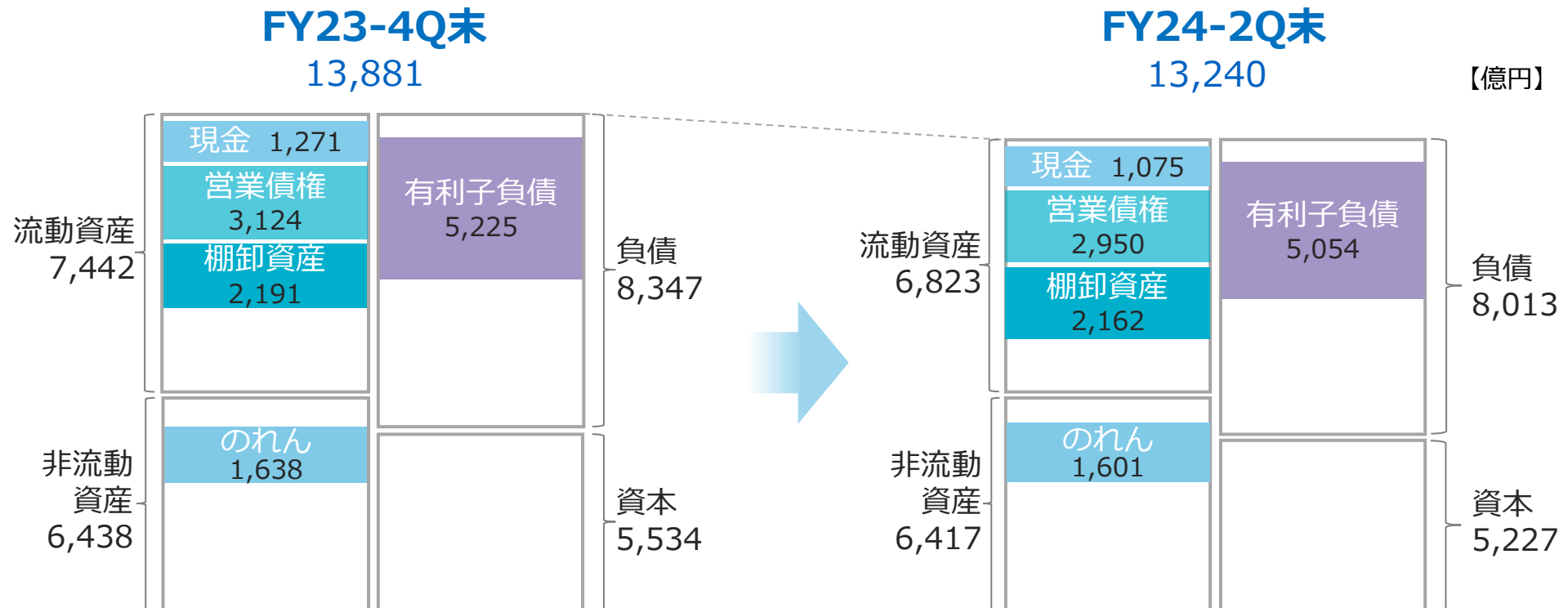
## 営業債権の削減や事業譲渡による資産圧縮、有利子負債削減が進む

FY24 2Q末実績  
(FY23期末比)

総資産 △641億円、為替除く実質 △369億円

- 営業債権：△174億円、為替除く実質 △90億円
- 棚卸資産：△28億円、為替除く実質 +17億円
- 売却目的保有資産 △247億円 (Invicro等)

有利子負債 △171億円

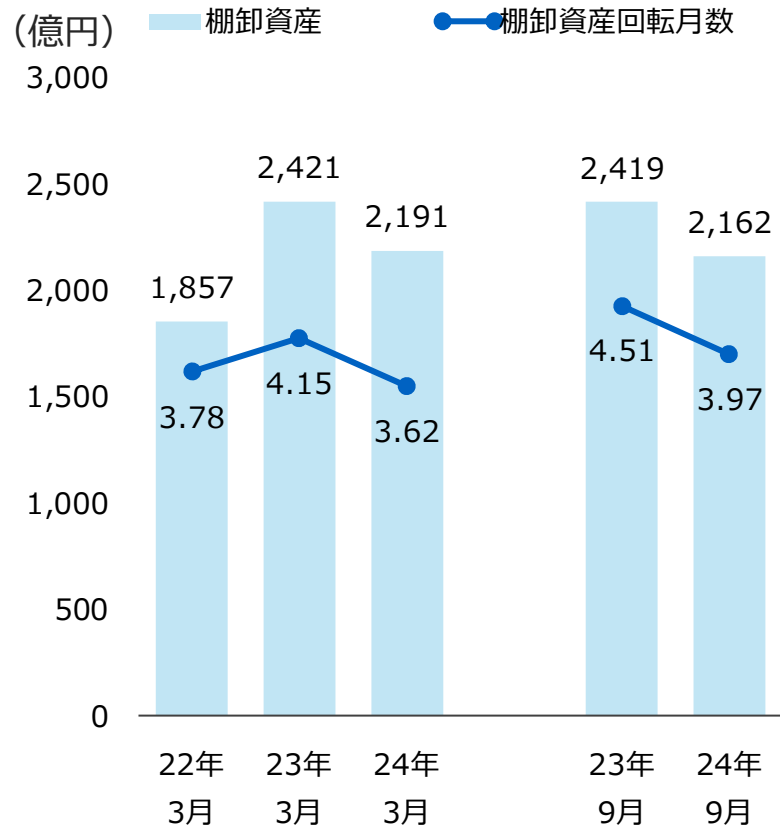




# 財務基盤の強化 | 棚卸資産、営業キャッシュ・フロー/FCF

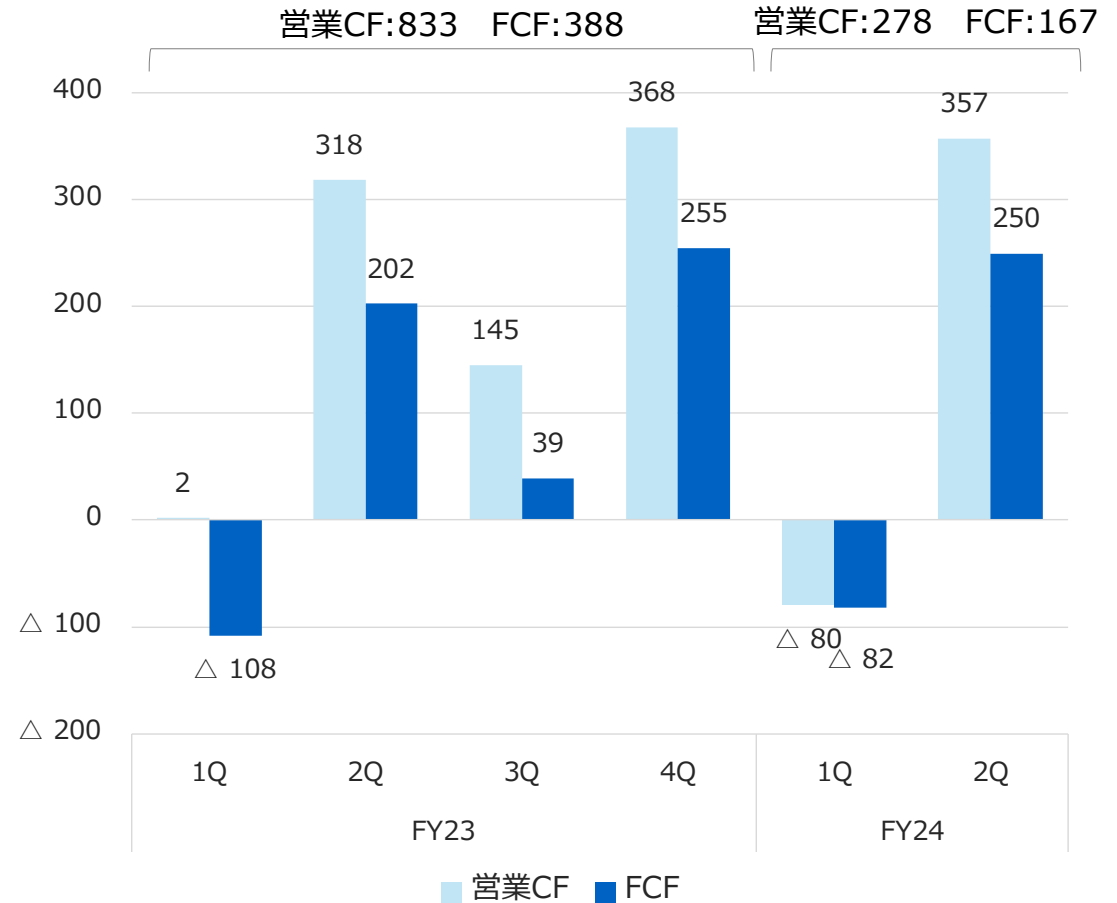
- 前年同期比で棚卸資産の圧縮/回転月数改善

## 棚卸資産



## 営業キャッシュ・フロー/FCF

【億円】



# 中計後半に向け、事業の選択と集中の完遂、強化事業の成長回帰、 財務基盤の強化を加速

- 成果を得られている案件
- 計画に対し遅れている案件
- 現在進行中の案件

FY23～FY24上期

## 事業収益力の強化

非重点事業の  
第三者資本活用

- プレシジョンメディシン：Ambry社の全株式譲渡契約締結（11月）
- マーケティングサービス：国内子会社の連結除外
- 光学コンポーネント：中国生産子会社の譲渡（クロー징未完了）
- プレシジョンメディシン：Invicro社全持分譲渡完了

方向転換事業の  
戦略方向性の再設定

- DW-DX：再編による赤字縮小
- 画像IoTソリューション：販売リソース見直しによる赤字縮小

情報機器事業の  
収益拡大

- オフィス：収益性改善
- 情報機器：富士フィルムBI社との業務提携
- 情報機器：中国・無錫工場の生産終了決定

成長基盤の  
確立にむけた仕込み

- 強化事業：一部の基盤領域(光源色、フィルム、X線DR)で収益悪化
- 強化事業：産業用途光学コンポ、SANUQI、X線動態など注力製品の成長
- インダストリー：ディスプレイ分野で事業横断の新規事業開発が進展

## 収益基盤強化

グローバル構造改革

- 計画を前倒して実行

財務基盤強化

- 運転資本圧縮によるFCF黒字化
- 有利子負債の削減
- 為替差損による金融収支の悪化、税金費用の増大による当期利益赤字（FY24上期）

# 2024年度業績見通し



# 2024年度 業績見通し | サマリー

- デジタルワークプレイスとプロフェッショナルプリントの為替影響および需要堅調
- インダストリーはセンシングの顧客の設備投資抑制および一部用途の競争激化、機能材料のIT用途の減少
- プレシジョンメディシンの事業譲渡による非継続化と譲渡益
- 非重点事業の第三者資本の活用や事業の選択と集中、一部事業の減損リスクの織り込み等 (△290億円)
- 為替差損を含む金融収支の悪化

【億円】

	FY23 <sup>*1</sup> 実績	FY24 前回見通し	FY24 見通し	差異	非継続事業 (除外)
売上高	11,600	11,600	11,340	△260	△ 460
事業貢献利益	260	400	420	+20	+40
営業利益	261	130	△ 140	△270	+40
親会社の所有者に帰属する 当期利益	45	0	0	-	+410
配当 (円/1株)	5	0	0	-	

為替レート	【円】				為替感応度	
		上期	年間 <sup>*2</sup>	売上高	営業利益	
USドル	144.62	140.00	152.63	146.32	+30	△ 0
ユーロ	156.80	150.00	165.95	157.97	+16	+4
人民元	20.14	20.00	21.15	20.58	+32	+11

\*1：非継続事業の遡及前

\*2：上期実績レートと下期想定レート (USドル：140 ユーロ：150 人民元：20) の平均

# 2024年度 業績見通し | 売上高・事業貢献利益・営業利益

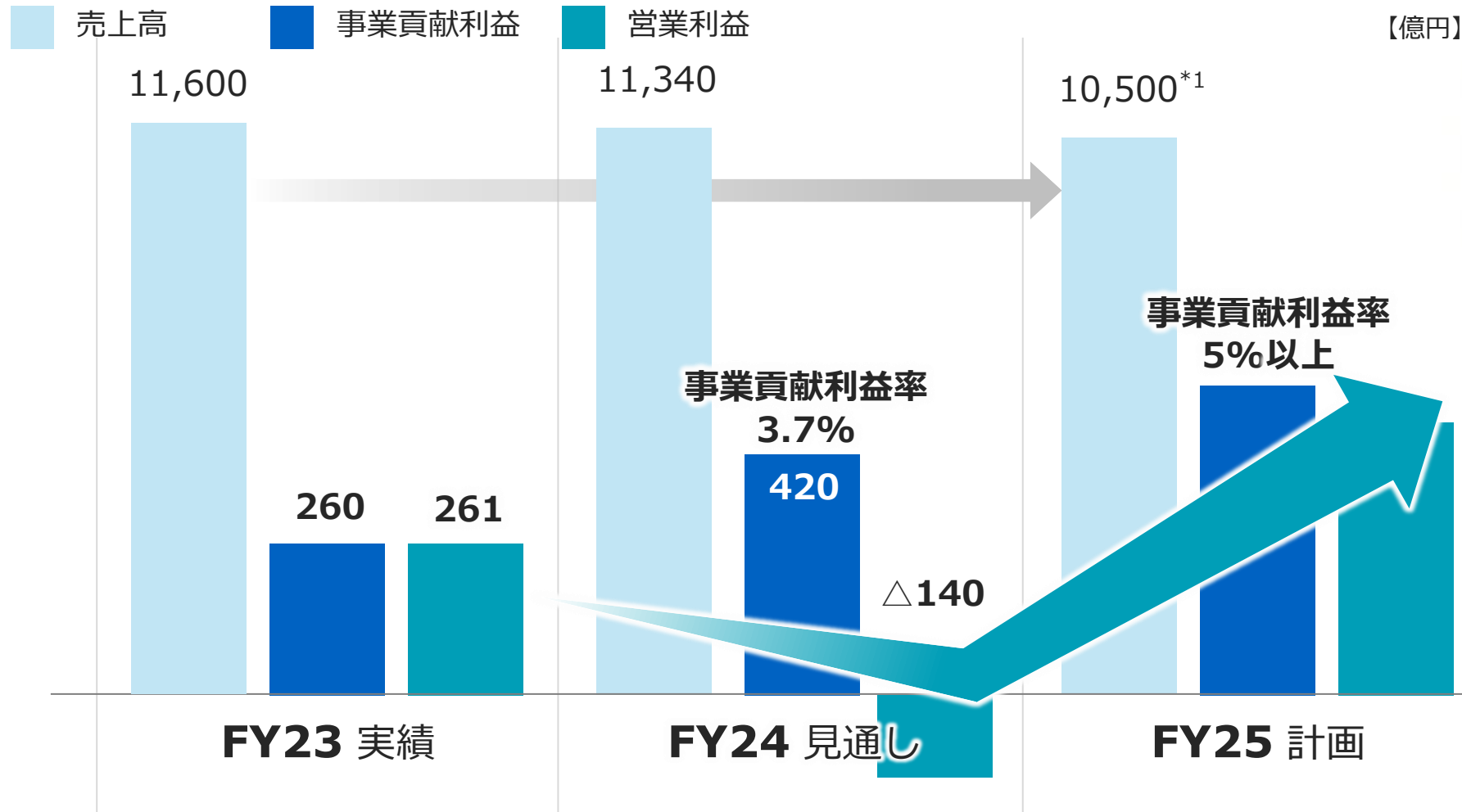
【億円】

売上高	2023年度 実績	2024年度 前回見通し	2024年度 見通し	差異
デジタルワークプレイス事業	6,149	6,000	6,200	+200
プロフェッショナルプリント事業	2,634	2,700	2,800	+100
インダストリー事業	1,236	1,360	1,260	△100
画像ソリューション事業	1,052	1,080	1,080	-
プレジジョンメディシン事業	523	460	0	△460
コーポレート他	7	0	0	-
全社合計	11,600	11,600	11,340	△260

事業貢献利益	2023年度 実績	率	2024年度 前回見通し	率	2024年度 見通し	率	差異
デジタルワークプレイス事業	327	5%	335	6%	345	6%	+10
プロフェッショナルプリント事業	138	5%	165	6%	175	6%	+10
インダストリー事業	176	14%	220	16%	180	14%	△40
画像ソリューション事業	△ 84	-	△ 55	-	△ 55	-	-
プレジジョンメディシン事業	△ 76	-	△ 40	-	0	-	+40
コーポレート他	△ 222	-	△ 225	-	△ 225	-	-
全社合計	260	2%	400	3%	420	4%	+20

営業利益	2023年度 実績	率	2024年度 前回見通し	率	2024年度 見通し	率	差異
デジタルワークプレイス事業	330	5%	335	6%	150	2%	△185
プロフェッショナルプリント事業	116	4%	165	6%	150	5%	△15
インダストリー事業	166	13%	220	16%	190	15%	△30
画像ソリューション事業	△ 109	-	△ 55	-	△ 60	-	△5
プレジジョンメディシン事業	△ 17	-	△ 40	-	0	-	+40
コーポレート他	△ 225	-	△ 495	-	△ 570	-	△75
全社合計	261	2%	130	1%	△ 140	-	△270

# 2025年度以降の成長に向けて経営改革を完遂する



次期  
中期経営計画

利益成長に併せて2025年度に復配へ

\*1 非重点事業の連結除外後

# マテリアリティ目標達成 に向けて



KONICA MINOLTA

## 【成長の芽と位置付ける再生材技術】 他社製品への採用が拡大

- サトー\*1のラベルプリンター4製品の部品に強度や難燃性、成形容易性に優れた当社再生材の「Matelier®(マテリエ)」が採用
- 使用部位において従来比でCO<sub>2</sub>排出量約65%削減効果を見込む



### 当社の強み

複合機で業界トップクラスの再生材使用率を支える  
高PCR\*2材処方設計、高品質射出成形技術

## 「女性技術者育成功労賞」受賞

- 技術同友会主催の「女性技術者育成功労賞\*3」において、当社DEI推進部門が組織表彰
- 技術系採用の女性比率30%超の採用実績や女性のキャリア形成支援につながる制度、男性の育児休業取得率75%達成などが高く評価



\*1 株式会社サトー

\*2 PCR：Post-Consumer Recycledの略。使用済みの製品を回収し再生資源化すること

\*3 内閣府男女共同参画局、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省が後援し、女性技術者育成において顕著な成果を上げた個人や組織の功績を称えるもの



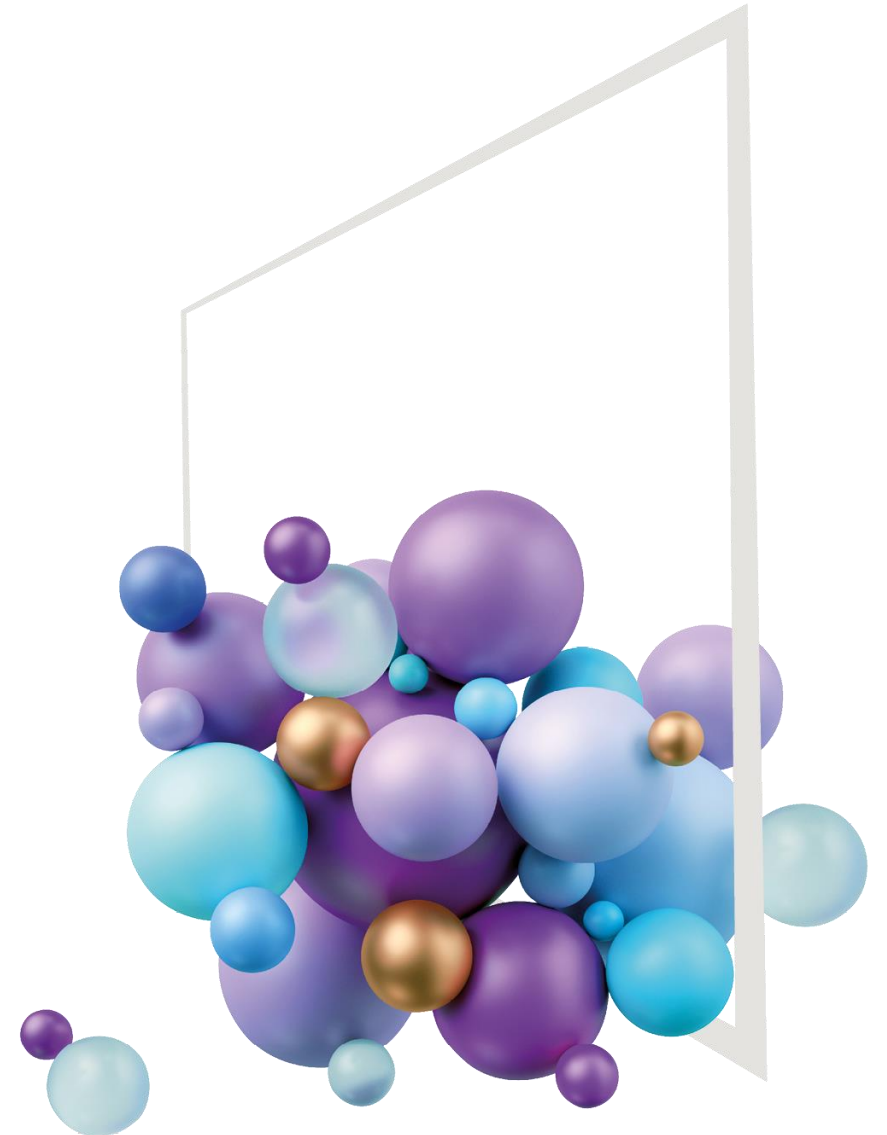


**KONICA MINOLTA**

# APPENDIX

開示しておりました一部資料はウェブ上の開示に変更しました。  
以下よりダウンロードしてご確認ください。

[https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir\\_library/fr/pdf/2025/2025\\_2q\\_presentation\\_supplementary.xlsx](https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/fr/pdf/2025/2025_2q_presentation_supplementary.xlsx)



## 組織変更に伴う開示セグメントの変更（再掲）

FY24より「情報機器事業」「インダストリー事業」「画像ソリューション事業」の主要3領域に区分し、中期経営計画の実行を加速する体制を強化

FY23以前		FY24以降		
デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス</li> <li>■ DW-DX</li> </ul>	情報機器 事業	デジタルワーク プレイス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス</li> <li>■ DW-DX</li> </ul>
プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント</li> <li>■ 産業印刷</li> <li>■ マーケティングサービス</li> </ul>		プロフェッショナル プリント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロダクションプリント</li> <li>■ 産業印刷</li> <li>■ マーケティングサービス</li> </ul>
ヘルスケア 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>メディカルイメージング</b></li> <li>■ <b>プレジジョンメディシン</b></li> </ul>	インダストリー事業	インダストリー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センシング</li> <li>■ 機能材料</li> <li>■ IJコンポーネント</li> <li>■ 光学コンポーネント</li> </ul>
インダストリー 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センシング</li> <li>■ 機能材料</li> <li>■ IJコンポーネント</li> <li>■ 光学コンポーネント</li> <li>■ <b>画像IoTソリューション</b></li> <li>■ <b>映像ソリューション</b></li> </ul>			画像ソリューション事業
コーポレート他 （QOLソリューション、FORXAI、技術開発本部、他CO）		プレジジョンメディシン事業		
		コーポレート他（技術開発本部、他CO）		

【億円】

	FY23 上期	FY24 上期	前期比	FY23 2Q	FY24 2Q	前期比
売上高	5,528	5,837	+6%	2,864	2,975	+4%
売上総利益	2,372	2,607	+10%	1,253	1,343	+7%
（売上総利益率）	42.9%	44.7%	+1.7pt	43.8%	45.1%	+1.4pt
販売管理費	2,350	2,429	+3%	1,190	1,180	△1%
事業貢献利益	23	178	+679%	64	162	+154%
（事業貢献利益率）	0.4%	3.1%		2.2%	5.4%	
その他収益・費用	△ 15	△ 186	-	△ 12	△ 165	-
営業利益	8	△ 7	-	52	△ 3	-
（営業利益率）	0.1%	-		1.8%	-	
金融収支	△ 44	△ 93	-	△ 31	△ 79	-
税引前利益	△ 37	△ 100	-	20	△ 82	-
（税引前利益率）	-	-		0.7%	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益	△ 45	△ 107	-	11	△ 73	-
（親会社の所有者に帰属する当期利益率）	-	-	-	0.4%	-	-
EPS（円）	△ 9.09	△ 21.66		2.17	△ 14.70	
設備投資額	189	174		111	96	
減価償却費及び償却費 *	271	262		138	130	
研究開発費	325	308		164	155	
FCF	94	167		202	250	
投融資	7	0		7	0	

\* IFRS16による使用权資産償却費は含まない

【億円】

	FY23 上期	FY24 上期	差異	FY23 2Q	FY24 2Q	差異
<b>販売管理費</b>						
販売変動費	223	227	+5	113	112	△1
研究開発費	325	308	△17	164	155	△9
人件費	1,154	1,198	+43	586	581	△5
その他	647	696	+48	327	332	+5
販売管理費 計	2,350	2,429	+79	1,190	1,180	△9
	(為替影響を除く差異)		△46	(為替影響を除く差異)		△40

# その他の収益・費用及び金融収支明細

## 事業構造改革費用の計上（前倒し）、円高進行による為替差損の計上

【億円】

	FY23 上期	FY24 上期	差異	FY23 2Q	FY24 2Q	差異
<b>事業貢献利益</b>	23	178	+155	64	162	+98
<b>その他の収益</b> その他の収益 計	28	26	△2	13	△6	△19
<b>その他の費用</b> 事業構造改善費用	8	164	+156	2	134	+132
有形固定資産及び無形資産除売却損	11	14	+4	8	8	△0
その他費用	24	33	+9	15	17	+2
その他の費用 計	43	212	+169	25	160	+134
<b>営業利益</b>	8	△7	△15	52	△3	△55
<b>金融収益</b> 受取利息及び受取配当金	14	15	+1	7	7	+0
為替差益	8	-	△8	-	-	-
その他	3	1	△2	3	0	△3
金融収益 計	25	16	△9	10	7	△3
<b>金融費用</b> 支払利息	50	46	△4	26	22	△3
リース利息	14	15	+0	7	7	△0
為替差損	-	46	+46	7	54	+47
その他	5	3	△2	1	2	+1
金融費用 計	69	110	+41	41	86	+45
<b>税引前利益</b>	△ 37	△ 100	△63	20	△ 82	△102
<b>法人所得税費用</b>	8	7	△0	8	△ 11	△18
<b>当期利益</b>	△ 45	△ 107	△62	12	△ 71	△84

# 主な通貨の為替レートと為替影響/為替感応度

【為替レート：円】  
【影響額、感応度：億円】

	FY23	FY24	対前年影響額		為替感応度*2	
	上期	上期	売上高	営業利益	売上高	営業利益
米ドル	141.00	152.63	+170	△ 9	+30	△ 0
ユーロ	153.39	165.95	+93	+53	+16	+4
ポンド	177.49	195.46	+22	△ 1	+2	+1
欧州通貨*1	-	-	+125	+52	+23	+7
人民元	19.75	21.15	+26	+12	+32	+11
その他	-	-	+38	+8	-	-
予約影響額	-	-	-	+1	-	-
合計	-	-	+358	+65	-	-

\*1 欧州通貨：ユーロ/ポンド以外の欧州通貨も含む

\*2 為替感応度：1円変動時の影響額（年間）

# 連結キャッシュ・フロー

【億円】

	FY23 上期	FY24 上期
税引前損失 (△)	△ 37	△ 100
減価償却費及び償却費	378	373
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	285	92
棚卸資産の増減 (△は増加)	169	△ 27
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	△ 257	△ 6
その他	△ 217	△ 53
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>320</b>	<b>278</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 115	△ 125
無形資産の取得による支出	△ 90	△ 75
子会社株式の取得による支出	△ 14	△ 3
その他	△ 7	93
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 226</b>	<b>△ 110</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>94</b>	<b>167</b>



# 連結財政状態計算書

	23年3月	24年3月	24年9月
現金及び現金同等物	1,806	1,271	1,075
営業債権及びその他の債権	3,135	3,195	2,993
棚卸資産	2,421	2,191	2,162
その他の流動資産	414	418	473
売却目的で保有する資産	-	367	120
<b>流動資産合計</b>	<b>7,776</b>	<b>7,442</b>	<b>6,823</b>
有形固定資産	2,891	2,822	2,797
のれん及び無形資産	2,589	2,710	2,614
その他の非流動資産	882	906	1,006
<b>非流動資産合計</b>	<b>6,362</b>	<b>6,438</b>	<b>6,417</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,138</b>	<b>13,881</b>	<b>13,240</b>

	23年3月	24年3月	24年9月
営業債務及びその他の債務	2,005	1,938	1,823
社債及び借入金	4,691	4,266	4,059
リース負債	992	959	995
その他の負債	1,451	1,183	1,136
<b>負債合計</b>	<b>9,139</b>	<b>8,347</b>	<b>8,013</b>
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,874	5,398	5,080
非支配持分	125	136	147
<b>資本合計</b>	<b>4,999</b>	<b>5,534</b>	<b>5,227</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>14,138</b>	<b>13,881</b>	<b>13,240</b>

	23年3月	24年3月	24年9月
自己資本比率(%)	34.5	38.9	38.4
格付け評価用自己資本比率(%)	37.9	42.4	42.1
D/Eレシオ	1.17	0.97	0.99

# セグメント別四半期推移

【売上高】	FY23					FY24	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	1,433	1,512	1,561	1,643	<b>6,149</b>	1,520	1,556
オフィス	1,226	1,291	1,332	1,396	<b>5,245</b>	1,290	1,334
DW-DX	207	221	228	247	<b>904</b>	230	222
プロフェッショナルプリント事業	602	638	657	737	<b>2,634</b>	676	714
プロダクションプリント	377	410	435	464	<b>1,686</b>	422	441
産業印刷	77	94	86	119	<b>376</b>	84	119
マーケティングサービス	148	134	136	153	<b>572</b>	171	155
インダストリー事業	297	320	284	335	<b>1,236</b>	310	295
センシング	91	98	99	106	<b>394</b>	88	93
機能材料	114	128	85	122	<b>448</b>	131	107
IJコンポーネント	45	47	49	55	<b>196</b>	53	47
光学コンポーネント	47	48	51	52	<b>197</b>	37	48
画像ソリューション事業	218	267	246	321	<b>1,052</b>	228	276
ヘルスケア	180	221	204	262	<b>867</b>	188	226
*1) 画像IoTソリューション他	29	36	30	42	<b>138</b>	31	36
映像ソリューション	8	10	11	17	<b>47</b>	9	14
プレジジョンメディシン事業	113	124	143	143	<b>523</b>	126	133
コーポレート他	2	2	2	2	<b>7</b>	2	1
全社合計	2,664	2,864	2,892	3,180	<b>11,600</b>	2,862	2,975

\*1) 「QOLソリューション」「FORXAI」の売上高込み

# セグメント別四半期推移

【事業貢献利益】	FY23					FY24	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	24	84	97	122	<b>327</b>	68	123
プロフェッショナルプリント事業	8	28	52	50	<b>138</b>	18	48
*1) インダストリー事業	39	43	44	51	<b>176</b>	38	38
*2) 画像ソリューション事業	△ 27	△ 8	△ 29	△ 20	△ <b>84</b>	△ 40	△ 9
プレジジョンメディシン事業	△ 29	△ 21	△ 11	△ 15	△ <b>76</b>	△ 2	16
*3) コーポレート他	△ 55	△ 63	△ 54	△ 51	△ <b>222</b>	△ 65	△ 53
全社合計	△ 41	64	99	138	<b>260</b>	16	162

【営業利益】	FY23					FY24	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
デジタルワークプレイス事業	20	80	96	133	<b>330</b>	45	21
プロフェッショナルプリント事業	9	27	51	28	<b>116</b>	17	33
*1) インダストリー事業	39	37	44	46	<b>166</b>	31	41
*2) 画像ソリューション事業	△ 27	△ 8	△ 47	△ 26	△ <b>109</b>	△ 43	△ 17
プレジジョンメディシン事業	△ 31	△ 21	△ 11	46	△ <b>17</b>	14	△ 12
*3) コーポレート他	△ 54	△ 64	△ 56	△ 51	△ <b>225</b>	△ 68	△ 70
全社合計	△ 44	52	78	175	<b>261</b>	△ 4	△ 3

\*1) インダストリー事業：センシング、機能材料、IJコンポーネント、光学コンポーネント、インダストリー事業戦略室、インダストリー事業開発センター

\*2) 画像ソリューション事業：ヘルスケア（旧メディカルイメージング）、画像IoTソリューション他（QOLソリューション、FORXAI含む）、映像ソリューション

\*3) コーポレート他：技術開発本部、その他コーポレート

# (2023年度インダストリー事業説明会より再掲) 波長別の製品マップと今後の成長ステップ

**Step 2** DUV/VUV\*1  
領域への拡大

**Step 1**

ミドル (UV/VIS\*1)  
領域の拡大

波長領域

<b>EUV</b>	<b>VUV</b>	<b>DUV</b>	<b>UV</b>	<b>VIS</b>	<b>NIR/IR</b>
13.5nm	193nm		350nm	450nm	1000nm
1nm	2nm		4nm	5nm	10nm

面精度

口径  
↑  
φ100  
↓  
φ1

プロジェクター用  
光学ユニット



カメラ用交換レンズ



半導体向け



光ディスク用  
ピックアップレンズ



車載カメラ用  
レンズ

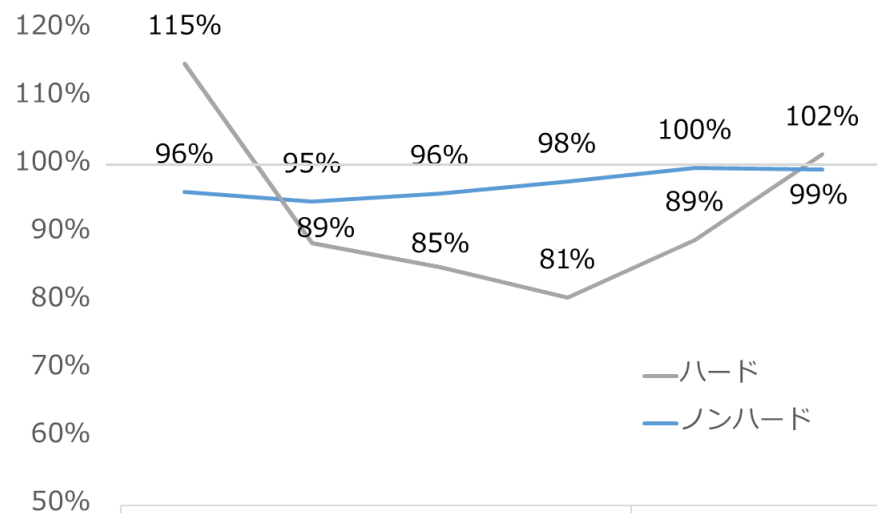
当社製品

市場ニーズへの対応  
加工精度向上に注力

\*1 光源の波長帯域。VIS(可視), UV(紫外), DUV(深紫外), VUV(真空紫外)の順に波長が短くなり、より微細な半導体の回路パターンの形成・検査等に用いられる

# 2024年度 2Q業績 | ハード・ノンハード売上 対前年同期

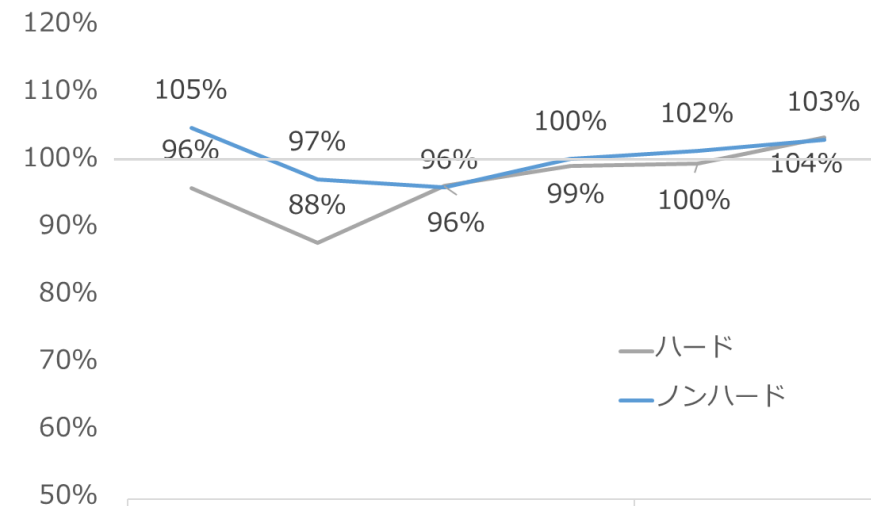
## オフィス



### ノンハード地域別

地域別	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	FY23				FY24	
日本	98%	97%	97%	96%	98%	96%
米国	91%	92%	93%	97%	100%	97%
欧州	94%	96%	102%	95%	96%	101%
中国	95%	125%	86%	104%	107%	85%
インド	125%	117%	119%	127%	108%	119%
合計	96%	95%	96%	98%	100%	99%

## プロダクションプリント

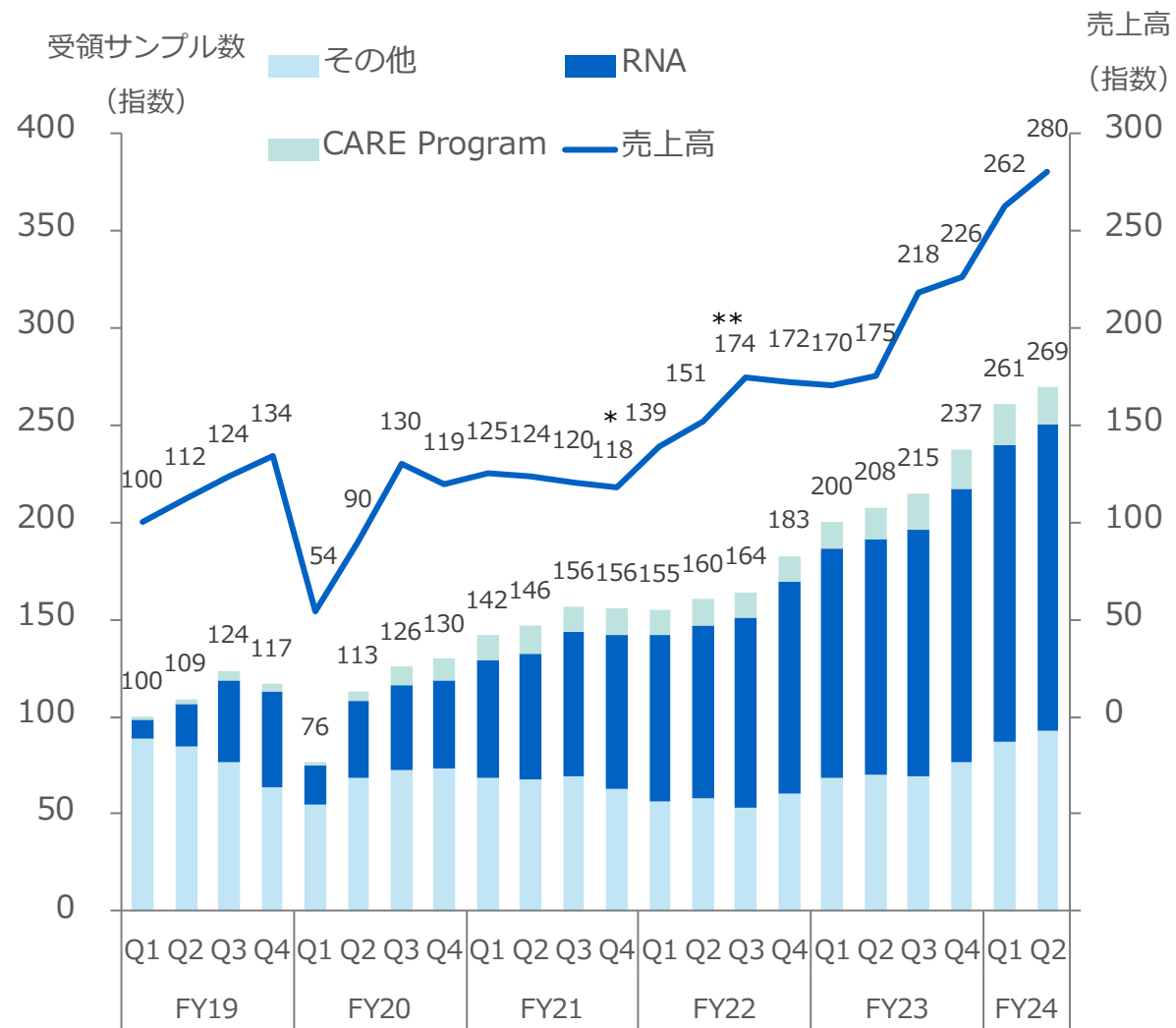


### ノンハード地域別

地域別	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	FY23				FY24	
日本	102%	107%	98%	97%	99%	97%
米国	93%	86%	91%	103%	101%	102%
欧州	96%	87%	92%	91%	97%	104%
中国	170%	140%	98%	93%	104%	88%
インド	132%	126%	108%	117%	104%	110%
合計	105%	97%	96%	100%	102%	103%

FY19 1Qを100とした時の指数/売上高は円貨ベース

## Ambry社 売上高および受領サンプル数推移



\* 売掛金/売上高減額前

\*\* 売掛金/売上高修正を反映



# KONICA MINOLTA

- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。